



□□ _____ □□

1. トピックス …『誌上表彰式』の冊子が完成

□□ _____ □□

第23回日本自費出版文化賞の表彰式に代わる冊子が完成しました。近々会員の皆様に届けられますので楽しみにしてください。制作は会員の中西出版さん(札幌)で、編集は社員の1級アドバイザーの佐藤香さんです。

□□ _____ □□

2. トピックス …新入会員ご紹介

□□ _____ □□

先月個人会員第1号の方が入会されましたが、引き続き第2号の個人会員さまと法人会員として、株式会社デジタルパブリッシングサービスさまが入会されました。どうぞよろしく願いたします。

□□ _____ □□

3. お知らせ …第24回日本自費出版文化賞の応募が始まりました

□□ _____ □□

第24回日本自費出版文化賞の応募が12月1日から始まりました。今年こそ目標の650点(前回は603点)に届くようご協力をお願いいたします。締切は21年3月末です。応募用紙を添付しましたので活用願います。

□□ _____ □□

4. お知らせ …2級アドバイザー試験の準備が着々と進んでいます

□□ _____ □□

「自費出版アドバイザー2級試験導入プロジェクト」のメンバーが、ZOOMを活用して試験導入を着々と進めています。2級試験は指定テキストから75%出題されるという方式ですが、そのために日本エディタースクールのテキスト5冊が選ばれています。

問題作成メンバーは、清水工房の山崎さん、文伸の宮川さん、共同プリントの住田さん、電算印刷の加藤さん、日相印刷の荒井さんです。また監修役として国際印刷出版研究の喜田さん、一粒社の都築さん、文伸の川井がチェックすることになりました。

□□ _____ □□

5. お知らせ …ZOOM理事会が1月20日開催されます

□□ _____ □□

理事会が来年1月20日に開催されます。初めてのZOOM理事会です。
「2021岐阜全国大会」の開催可否などを決めます。

□□ _____ □□

6. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.36

□□ _____ □□

共立速記印刷株式会社
篠原 康仁

「日記」

お客様より、旅行記の相談を受けて本をつくりました。
スペインを40日間かけて歩いて横断した旅の本です。
原稿は地名が欧文、それ以外は日本語で書かれていました。

文章は著者と確認しながら整えていきましたが、とくに苦労したのが欧文表記です。
欧文は読めませんのでスペルアウトを一つずつ確認する地道な作業となりました。
情報量の豊富さからインターネットの力を借りました。
インターネットがなかった頃の編集の大変さは想像もできません。
作業を進める中、地図上で街と建物を追っていきますので、
結果的に私自身も著者と一緒に旅をしている感覚でした。

綴られた文章はただ歩くのではなく、じつは多くの人との交流があり、トラブルもあり、
また小さな目標や目的地を定めており、まさに人生の縮図のようでした。

一日の出来事を綴る。
その時、その瞬間の感情と出来事を書き留めるというある種古典的な作業は、
読み返すと一瞬にして情景や感情がよみがえります。

私も日記を綴ってみたくなりました。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 愛知 ☆ その7

□□ _____ □□

～ところ変われば品変わる～

愛知県に住んで印象的だった食べ物を紹介します。

「赤味噌（八丁味噌）」

全国的にも有名になりつつある「名古屋めし」でよく使われるのが
豆を原料とした「赤味噌（八丁味噌）」ですね。
「味噌煮込みうどん」や「味噌カツ」、「どて煮」が有名ですが、
おでんも味噌が乗っていたり、味噌で煮たりしたものもあります。
また「赤だし味噌汁」も飲食店では必ず出てきます。

徳島県出身の私にとってこの「赤味噌」料理は味噌の色と味の濃さで

当初はかなり戸惑い、出されたお味噌汁をこっそり水で薄めたり、味噌をよけて食べたりしていました。濃い色と味で「塩味が強い」という思い込みからの行動でしたが、この「赤味噌（八丁味噌）」は旨みが豊富で、煮込んでも風味が飛びにくく、米味噌や麦味噌に比べて塩味はそれほどないことに気づいて、今では「味噌煮込みうどん」は冬の定番になり、冷蔵庫には「万能みそだれ」が常備されるまでになっています。

「お餅」

お正月になくってはならない「お餅」ですが、愛知県は「角餅」が主流です。徳島県では「丸餅」が一般的で、あんこの入ったお餅も売られています。「お餅」は丸以外の形があるとは思っていませんでしたので驚きました。でも、よく考えると「角」は作るのも持ち運ぶのも効率的なんですね。

株式会社マルワ 増井富枝代

★あとがき

「会員だより」篠原さまの「日記」。日々を文字に残すのはいいですね。今は「ブログ」を本にまとめる方もいらっしゃいます。最近私はWeb上に写真を保存するアプリを利用しています。でも時々紙のアルバムにします。紙の方がなぜか感慨深いのです。

今年一年を振り返り、文字に残すもよし、アルバムにするもよし。すべて良き思い出として・・・

「過去もポジティブに!」

少々早いですか、皆さま今年1年のご愛読を感謝申し上げますとともに、どうぞよいお年をお迎えくださいませ。

来年も引き続きよろしく願いいたします。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。